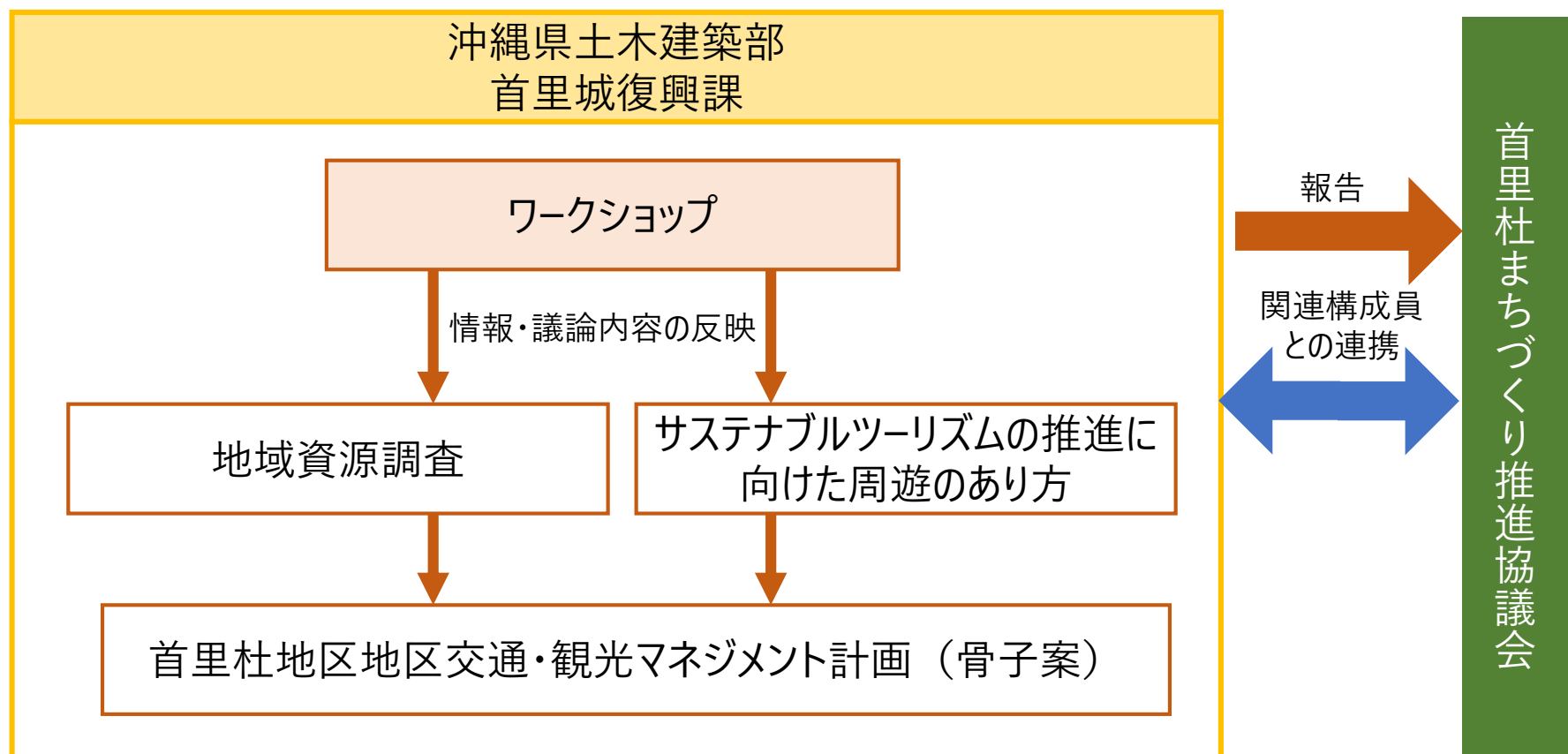


【資料4】首里杜地区交通・観光マネジメント 計画に係るワークショップについて

1. ワークショップの位置づけ
2. ワークショップの概要
3. ワークショップの全体の流れ

1.ワークショップの位置づけ

- 沖縄県において「首里杜地区交通・観光マネジメント計画」を策定するにあたり、住民の意見を計画に反映し、住民が主体的に計画を用いてまちづくりを推進していけるようにすることを目的に、住民ワークショップを実施する。
- ワークショップを進めるなかで得られた情報や議論内容については、地域資源調査、サステナブルツーリズムの推進に向けた周遊のあり方検討にフィードバックし、首里杜地区地区交通・観光マネジメント計画（骨子案）の検討における材料とする。



2.ワークショップの概要

(1) 全体のテーマ、目的

- これまで歩いて回る観光の推進や公共交通機関の充実などが必要と指摘されてきたことから、これらに共通するキーワードである「周遊の楽しいまちづくり」をテーマとする。
- 観光だけでなく交通環境の改善についても議論を深める内容とする。

(2) 対象者 (案)

- 20～30人程度を想定 (5～6人×4～5チーム、事務局は1チームに対し2人でフォロー)
- 参加者は事前募集とする。
- 首里杜地区の住民や、地区外在住でも首里杜地区のまちづくりに興味がある人 (学生、地区外住民など)

(3) 運営体制 (案)

- ワークショップ企画や地区外住民向けの周知、会場・備品等の準備、当日の進行、成果とりまとめは (株) 国建が実施する。
- なお、地域団体や大学にも、周知の協力や運営補助の協力を依頼したいと考えている。

企画	周知	当日運営
・ (株) 国建	・地域住民向け：地域団体 ・学生向け：琉球大学等 ・地区外住民向け：(株) 国建	・会場・備品準備、進行、とりまとめ：(株) 国建 ・進行やまちあるき等の補助：地域団体等

3.ワークショップの全体の流れ

- 連続テーマで全3回の流れを想定する。実施日は休日を想定。
- グループワークで地域の資源調査、周遊マップづくりを行う。マップづくりの過程で地域資源の掘り起こしや周遊するうえでの課題、魅力アップのための取組、マネジメント方法などを検討する。
- 作成した周遊マップは協議会メンバーも招いて発表会を行う。
- 第1回の前に、地域全体への周知も兼ねた首里杜地区整備計画および首里杜まちづくり推進協議会の説明会を行う。

時期・回数

各回テーマ、内容（案）

第0回
11月中旬

首里杜地区整備計画、首里杜まちづくり推進協議会の説明会（30分～40分）

- 対象は地域住民。地域全体への周知も兼ねて、首里杜地区整備基本計画、首里杜まちづくり推進協議会の説明会を実施する。地区の現況、公共交通の利用状況、首里杜地区整備基本計画で目指す「周遊」の考え方などを説明。
- WS参加希望者はそのまま第1回WSへ移行。

※同日開催

第1回
11月中旬

チーム分け、「周遊」の視点を決定（2時間）

- グループワークの土台づくりと、どのような形で「周遊」を進めたいか参加者同士で話しあう。

【ワーク案】

チーム分け、各チームで周遊のテーマ（視点）を決め、テーマに沿った次回WSのまち歩き計画作成
テーマ例：エリア、移動手段（徒歩、自転車、新モビリティなど）、歴史文化、フォトジェニック、水辺巡り など

3.ワークショップの全体の流れ

時期・回数

各回テーマ、内容（案）

第2回
12月上旬

テーマを活かすための資源・課題の把握（3時間）

- 各チーム、第1回で決めたテーマ（視点）でまち歩きを行い、大切な地域資源やあまり知られていない地域資源を把握する。さらに周遊する上での課題（歩きづらなど）も同時に把握する。
- 結果は地域資源調査に反映する。

【ワーク案】

前半：まち歩き（2時間）、後半：地図への落とし込みなどで資源・課題を共有する（1時間）

第3回
12月下旬

周遊マップのまとめ、周遊に必要なことの確認・提案、発表（3時間）

- 観光客に周遊を促す方法、見せたい資源への誘導方法、住民の公共交通での移動、行政等と協力することについて話し合う。
- 結果はサステナブルツーリズムの推進に向けた周遊のあり方検討、首里杜地区交通・観光マネジメント計画案（骨子案）に反映。

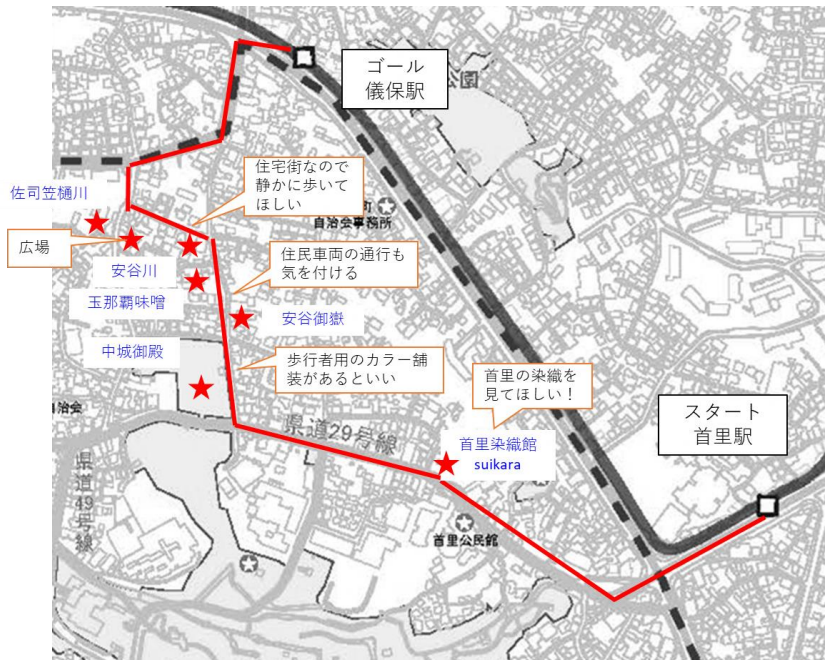
【ワーク案】

周遊マップをつくりながらテーマ（視点）に基づいた周遊マップをつくる、整備が必要な箇所や魅力アップに必要な取組み（ソフト）、役割分担について検討する。
最後に発表を行う。発表時には協議会メンバーにも参加を呼び掛ける。

3.ワークショップの全体の流れ

アウトプットのイメージ

■周遊マップ



■ワークシート（発表用の補助アイテムとして作成）

Aチーム考案 周遊マップ

【タイトル】 大中町よんな一歩きマップ

【ターゲット】

観光客

【周遊テーマ】 大中町の文化資源とまちなみを堪能する

【ルート】 首里染織館suikara → 中城御殿 → 安谷御嶽
→ 玉那覇味噌醤油店 → 安谷川 → 佐司笠樋川

【移動手段】

徒歩

【おすすめ資源】 佐司笠樋川近くの●●の広場は旗頭が演舞される場所で子どもたちの遊び場にもなっている大事なところなので景観を整備したい

【実現するには...】

- ★住民ができること
 - ・首里当蔵線を通る住民車両は安全に気をつけて走る。
 - ・広場に植栽を置いて景観を整備する。
 - ・文化資源について説明できるように勉強する。
- ★行政ができること
 - ・中城御殿を整備する。
 - ・首里当蔵線に歩行者用のカラー舗装を整備して安全性を高める。
- ★事業者ができること
 - ・観光客に次に向かう資源の場所を教える。
 - ・観光客に声をかけて交通マナーや騒音を出さないように知らせる。